



9月議会・傍聴者数

9月1日	2名	9月14日	1名
9月3日	4名	9月15日	2名
9月4日	1名	9月17日	1名
9月8日	1名	9月18日	1名
9月10日	0名	9月25日	2名
合計		15名	

傍聴者の声

(抜粋です)

(敬称略)

- 18、19歳の未成年者の投票をスムーズに行なわせるには、何よりも政治に対する関心を高める教育が肝要である。高校生に対しビデオを利用し町議会傍聴など取り入れてはどうか。(東城)
- 世田谷区は全域におけるゴミ捨て禁止条例を施行している。松伏町も参考になると思われる。(東城)
- 傍聴テーブルが高すぎてメモを書く時、腰を伸ばすため苦痛である。(松葉)
- 今回の台風での集中豪雨直撃は鬼怒川の決壊による家屋が流される災害を考えれば、河原地区周辺の地も将来リスクがあるかもしれない。抜本的防災対策が必要であることを痛感した。また、天候予想(降雨量予想など)などを踏まえ各家庭へ、役場からの迅速な防災無線の迅速な対応、日夜を徹して行なってもら。大型ポンプによる排水作業の迅速化や土のうの配付準備の万全な対応をとれば床上、床下浸水は少し防げたかもしれない。(東城)
- 傍聴席のイスは固すぎて、終日座り続けるのは、座り心地が快適ではなく、より多くの傍聴者が心地よく傍聴できるよう改善が望まれる。(東城)



松伏町立第二小学校の運動会

【編集後記】 松岡 高志

9月10日、記録的な豪雨により町の南西部地区は大きな被害を受けました。今年3月に過去5年間の町内の浸水情報をもとに「内水ハザードマップ」が作成され、ホームページで閲覧できるようになりましたが、活用状況はどうだったのでしょうか。今回の大雨はこのハザードマップの予測をはるかに上回るものでした。過去の気象統計があてにできない時代、町の防災力を高めるためには、新たな情報伝達の仕組みが必要であると感じました。

- 議長 山崎 善弘
- 議会広報発行特別委員会
- 委員長 高橋 昭男
- 副委員長 広沢 文隆
- 委員 佐々木ひろ子
- 委員 鈴木 勝
- 委員 荘子 敏一
- 委員 松岡 高志
- 委員 鈴木 勉